

ンターの煙突からアスベストが若干検出されたので、飛散防止対策を進めている。

◎PCB廃棄物処理事業とは。

◎旧幌延公民館にあったPCBの処理業務。

＜歳入＞

◎地方交付税について、幌延町は近年、地方交付税が20億円以上という形で推移している。今後について町長の考え方は。

◎安定はしていない。新聞、ニュースなどでいわれているが、4・4%ほど減で見込んでいるという話もある。

◎幌延町は4百14万円の軽自動車税があるが、これらの内、雪上走行車は何台登録されているのか。

◎雪上車は3台。

＜財産に関する調査＞

◎教員住宅を定住促進住宅に替えたので、教員住宅は減るのではないか。

◎平成26年度に教員住宅だったものを普通財産へと引き継いでいる。

◎ソフトクリームフリーザーが1台なくなっているが、トナカイ観光牧場に入れ

たものを、交換部品もなくなったので廃棄した。

＜総括＞

◎IP告知端末機の寿命と、更新時期は。

◎平成29年度末で保守期限が満了となる。その後の対策を協議する必要がある。

◎導入した市町村でつくる協議会などで話し合っているのか。

◎この自治体も同じ時期に入れている。今のところ協議はされていないが、今後出て来るのではないか。

◎去年の資料にもサイレン塔移設の検討があったが、どう検討したのか。

◎平成27年度で予算計上し、旧消防署から生涯学習センターに移設の予定だったが、課題が出てきて、今年度は移設しないことにした。

◎秘境駅6駅の内3駅を廃止したいというJRからの話もある。幌延町としてはどう考えているのか。

◎町政懇談会などで意見を伺いながら、11月末までに判断していきたい。

◎中長期計画(財政見直し)をなかなか出せない理由は。

◎中長期計画が出せないのではなく、総合戦略に出している事業、計画を実行することが、中長期計画になると思っている。

◎町内各所に目安箱があるが、どういう意見が入っているか確認しているのか。

◎月1回、回収している。

◎役場では大幅に職員を採用してきている。職員数は目標に達しているのか。

◎ここ1、2年に定年や早期退職などが続き、職員が総体的に減ってきた。あと1、2年、技術の継承も必要なので、そういった状態は続く。



◎酪農業への町独自の支援策を作って欲しい。

◎農協とタイアップして、クラスター事業や農機具のリース事業を重要視して進

行政報告―町長

① 町立診療所の常勤医確保対策に係る現況について

浦山所長の後任の医師について、確保出来る見込となつたので、現況を報告する。5月下旬から関係機関等を訪問し、医師派遣のお願いをしてきた。6月上旬から数件の問い合わせがあったが、7月下旬に訪問していた社会医療法人から医師派遣の打診があり、今後の安定した医師確保を考慮して、社会医療法人との関係を重視するべきと判断し、お願いすることとした。紹介いただいた医師は、田川豊秋氏(52歳)で、奄美諸島や羅臼町で長年地域医療に従事され、外科や総合診療科などが専門。10月から本町診療所で勤務していたくよう、準備を進めている。

教育行政報告―教育長

① 学校教育

めて来た。法人化も挙げているが、いろいろ議論をしながら進めて行きたい。基幹産業が元気になるないといけないと考えている。

中学校の体育文化連盟等主催の体育大会に、幌延中学校はバドミントン・陸上・剣道、問寒別中学校はバドミントン・卓球に出場した。全道大会では、幌中2年生の柳沼君が陸上男子1千5百mに出場し標準記録を突破した。剣道では幌中1年生の墓川さんが個人戦に出場し、ベスト8に入る健闘をした。文化面では、幌中吹奏楽部がC編成の部に出場し、金賞を受賞した。

◎社会教育

本年度計画している事業は、天候にも恵まれ予定どおり実施されている。

各スポーツ少年団(野球・剣道・バレーボール)が地区大会を勝ち抜き、全道大会に出場を果たした。